



小清水小学校 学校だより

# 羽ばたけ

平成26年10月9日 <第6号>

伸びる子の条件

小清水町立小清水小学校長 寺本 聡

□「今年度」も半分が終わりました。「今年」というと、あと3ヶ月となります。本当に月日の経つのは早いものです。年齢を重ねれば重ねるほど、この「感覚」が高くなるそうです。逆に、子どもは「遅く」感じるものなのだそうです。皆さんは、如何でしょうか？

■去る9月24日に、本校におきまして公開研究会を開催しました。当日は、小清水中学校全教職員をはじめ、近隣の学校より先生方が数名参加され、授業参観とその授業についての検討会が行われました。いろいろご指摘・ご指導を頂きながら、子どもたちに力を付けるべく本校職員も研鑽（けんさん）を重ねていきたいと考えております。保護者の皆様におかれましても、当日は多くの方が参観に来て下さったこと、この場をお借りしてお礼並びに感謝申し上げます。ありがとうございました。

□さて、標題の件です。「子どもが伸びる（成長する）するために必要な条件は何か」と、いうことです。皆様なら何を、または、どんなことを挙げるでしょうか。少し考えてみてください。

■私が教師になってから多くのことを学ばせて頂いた、今も学ばせて頂いている元小学校教諭の向山洋一氏という方は、いかなる学習にとっても大切なこととして、次の2点を条件として挙げています。しかも、絶対の条件としてです。私もその通りだと実感し、懇談会などでお話していることです。

第一は、『ていねいさ』

第二は、『持続性』

これにもう一つ加えるとすれば、『素直さ』が入ります。他人（たとえば先生や友達）の話や忠告を素直に聞くことができる、受け入れることができる、といったことです。

□『ていねいさ』とは、たとえば算数のノートで「線を引くときは必ず定規を使って引く」「ゆったりとノートを使う」といったことです。筆算の時の横線を、きちんと定規で引くことです。「面倒くさい」「遅くなる」と、言っているうちは取組が雑になりミスが多くなる（減らない）のです。文章問題をノートに解くときに、式と答えはしっかり書くのですが計算（筆算）はノートの端っこにこちょこちょと書いている子がいます。これでは計算ミスをするが多くなります。「そんな細かいこと・・・」と、思われるかも知れませんが実はとても大切なことなのです。だからこそ、本校でも「学習規律」として定規を使って線を引くことを盛り込んでいます。

■『持続性』は昔から「継続は力なり」と、言われているとおりです。「続ける」ことの大切さは、皆様も実感できるものと思います。ご家庭では、「決まったお手伝いを毎日する」役割を与えることも、子どもには必要とされています。

□『ていねいさ』『持続性』を学校・ご家庭で、子どもたちに育てていきたいですね。

# 6年生 修学旅行



9月4, 5日に6年生の修学旅行が実施されました。今年度から釧路方面に旅行先を変更しました。移動時間が少なくなり、見学先で時間を有効に活用することができました。特に体験学習の「和商市場」は貴重な経験ができ、子どもたちにも思い出深いものになりました。

## VOICEコンサート

9月12日に本校の校歌を作ったVOICEのお二人によるコンサートがありました。代表作を聴かせていただいた後、金管バンドとVOICEのお二人、全校児童と一緒に校歌を歌いました。



## 町民健康マラソン

9月28日に町民健康マラソンに全校児童で参加しました。体育の時間や休み時間等での練習の成果を発揮し、みんな最後まで走り抜くことができました。

